

宇都宮市の食品安全の取組

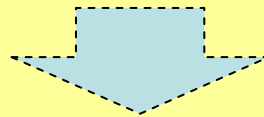
平成20年度全国食品安全連絡会議資料(H20. 9. 18)

宇都宮市保健所

これまでの取組

《平成15年度》

- 食品の安全確保に関する会議・委員会等設置 ※1
- 「宇都宮市食品の安全確保に関する基本方針」策定 ※2
- 「宇都宮市食品の安全確保に関する行動計画」策定 ※3



《平成16年度～》

基本方針，行動計画に基づき食品の安全確保の取組みを強化

さらなる
安全確保

《平成20年3月》

「宇都宮市食品安全条例」制定

推進体制

※1 食品の安全確保に関する会議・委員会

- ① 食品安全懇話会(年度2回開催)10名
- ② 食品安全専門委員会(年度2回開催)10名
- ③ 食品安全行政推進会議(14部署・機関)
- ④ 食品安全関係団体連絡会議(年度1回開催)13団体

※2 食品の安全確保対策を進める上での推進目標, 推進方策

- ① 食品生産から消費に至る総合的な食品の安全確保方策【生産から消費段階】
- ② 農畜水産物等の安全確保方策【生産段階】
- ③ 製造, 加工・流通, 販売等の安全確保方策【製造, 加工, 流通段階】
- ④ 消費者等の安全確保方策【消費段階】

※3 具体的な取組・目標値の設定

- 単年度ごとに計画策定 ※市関係8部署, 4方策【4段階】, 9テーマ, 32事業

宇都宮市食品安全条例の制定

目的 事業者等の食に対する安全意識を一層高め、自主的な取組を促進するしくみ構築などにより、食品の安全を確保し、市民の健康の保護を図ること。

危害食品排除のための‘**2つのしくみと4つの制度**’を盛り込んだ。

◇対象食品等

宇都宮市内で生産し、製造し、加工し、又は販売した食品等

◇対象事業者

宇都宮市内で食品等を生産し、製造し、加工し、又は販売する事業者

不良食品をなくすしくみ
(危害食品の拡大防止)

- 自主回収届出制度
- 危害情報申出制度
- 安全性調査制度

危害食品
排除

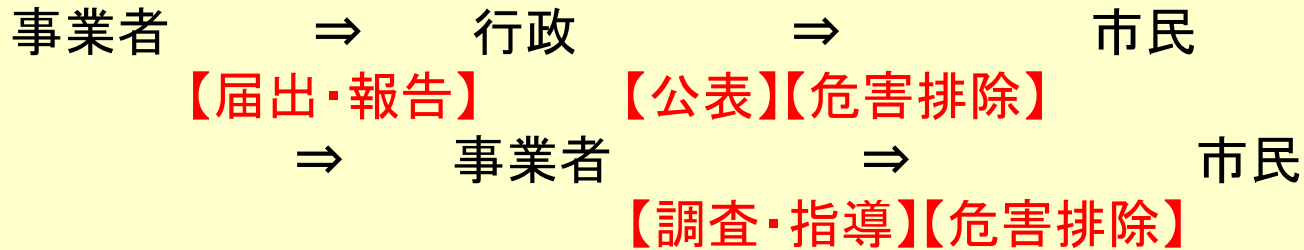
優良事業者を支援するしくみ
(危害食品の発生防止)

- 自主衛生管理認証制度

4つの制度(その1)

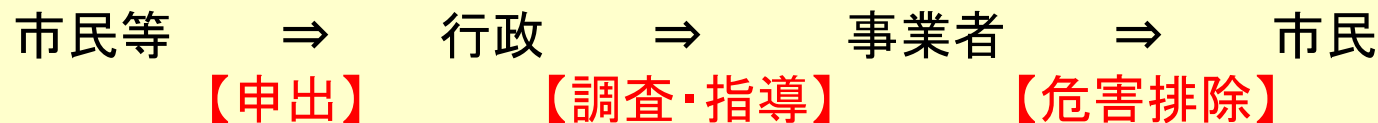
■自主回収届出制度

食品に起因する危害の排除, 又は拡大防止を図るため, 事業者に不良食品の自主回収の届出を義務付ける制度。



■危害情報申出制度

食品による危害発生の早期排除, 拡大防止を図るため, 市民等自らが危害情報を直接, 行政に申し出し対応を求めることができる制度。



4つの制度(その2)

■安全性調査制度

食品による危害への迅速な行政対応を行うため、生産から消費の各段階で食品安全確保のための必要な調査を実施できるようにする制度。



■自主衛生管理認証制度

食品の危害の発生を防止するため、事業者の自主的な衛生管理を継続的かつ確実に実施し、衛生水準を向上させ、営業施設の衛生管理が一定の水準にあることを公的に認証する制度。



リスクコミュニケーションの取組

- ① 食品安全講演会(年度1回開催)
- ② 食品安全フェア(年度1回開催)
- ③ 食品安全消費者教室(年度1回開催)
- ④ 食品衛生講習会(申込の都度開催 ※食品等事業者対象)
- ⑤ 出前講習会(申込の都度開催 ※一般市民対象)
- 内閣府食品安全委員会事務局, 栃木県との共催による取組

その他の取組

- ① 食品危害情報の収集発信
- ② 自主衛生管理認証制度の普及
- ③ 食品安全ウォッチャー制度の推進
- ④ 食品表示合同監視(国, 県との連携)
- ⑤ 農薬等検査の拡充

内閣府食品安全委員会事務局，栃木県との共催による取組（その1）

平成18年度

地域の指導者育成講習会 ～食の安全情報の共有化を目指して～

平成19年1月12日（金）10:00～16:30，栃木県総合文化センター，参加者52人

目的 地域におけるリスクコミュニケーションの積極的な実施を推進するため，国民各層の食の安全情報の共有化を目指し，各自治体内の食品安全指導者等を対象に，食品の安全性に係るリスクコミュニケーションに関する基礎的な講習等を実施し，「地域の指導者」を育成すること。

平成19年度

食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座

平成19年12月21日（金）9:30～17:00，宇都宮市保健所，参加者30人

目的 地域におけるリスクコミュニケーションを積極的に推進するため，消費者、事業者など様々な食品関係者の立場や主張を理解し，また，意見や論点を明確にし，地域において相互の意思疎通を円滑にする役割を担うリスクコミュニケーター（意見交換会の円滑な推進者）を育成すること。

内閣府食品安全委員会事務局，栃木県との共催による取組（その2）

平成20年度

食品に関するリスクコミュニケーション ～みんなで話そう！食の安全～

平成20年6月30日（月）13:00～16:30，宇都宮市保健所，参加者67人

目的 地域におけるリスクコミュニケーションの新しい手法を探るため，行政側と参加者が意見交換をするのみではなく，参加者同士が話し合うことで，お互いの理解を深めていく意見交換会の手法をモデル的に実施すること。

活用の仕方（予定）

・**国** 新しい形の意見交換会の1つとして，取り組みの成果を検証及び発表し，今後の事業に活用するほか，参加者から出されたテーマを今後のリスクコミュニケーションのあり方に反映させる。

・**県，市** 参加者から出されたテーマを今後のリスクコミュニケーションのテーマ候補とするほか，食品安全委員会が実施した地域における指導者育成講座等の受講者が活動する場の1つのモデルとして，今後の取り組みに活かす。

流れ及び所要時間

○ 事前打ち合わせ(ファシリテーター, 書記役含む) (60分)

① グループワーク説明 (10分)

② 自己紹介(自己紹介カード) (5分) ※他者(隣人)による紹介

③ テーマの決定 (45分)

④ 各グループで決まったテーマを発表 (10分)

⑤ グループディスカッション (45分)

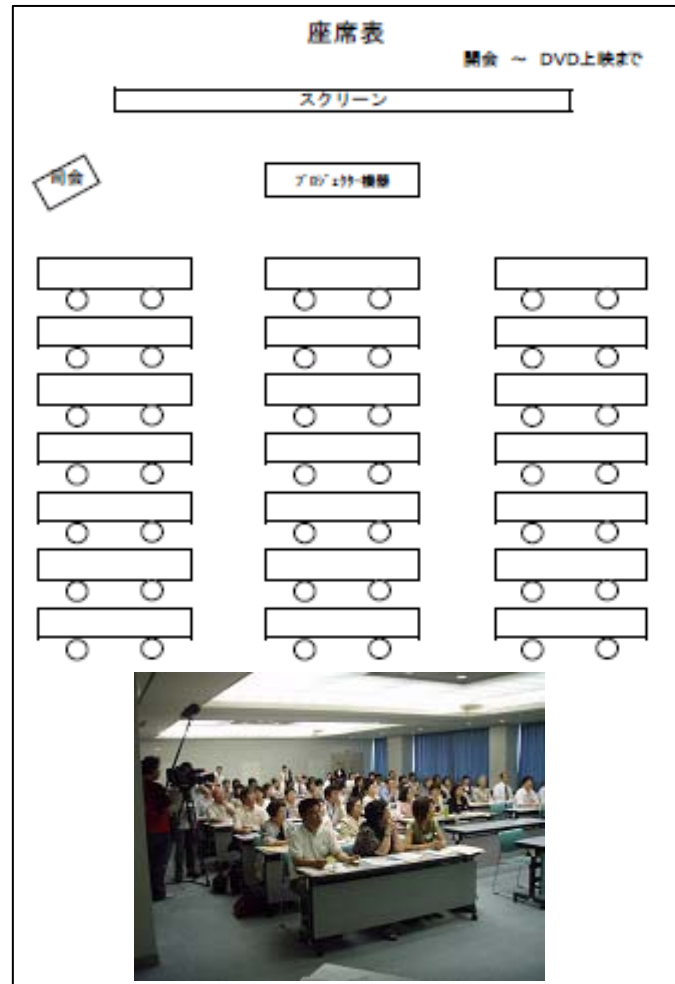
⑥ グループ発表のための準備時間 (15分)

⑦ グループ発表 (40分; 5分×8グループ(A~H))

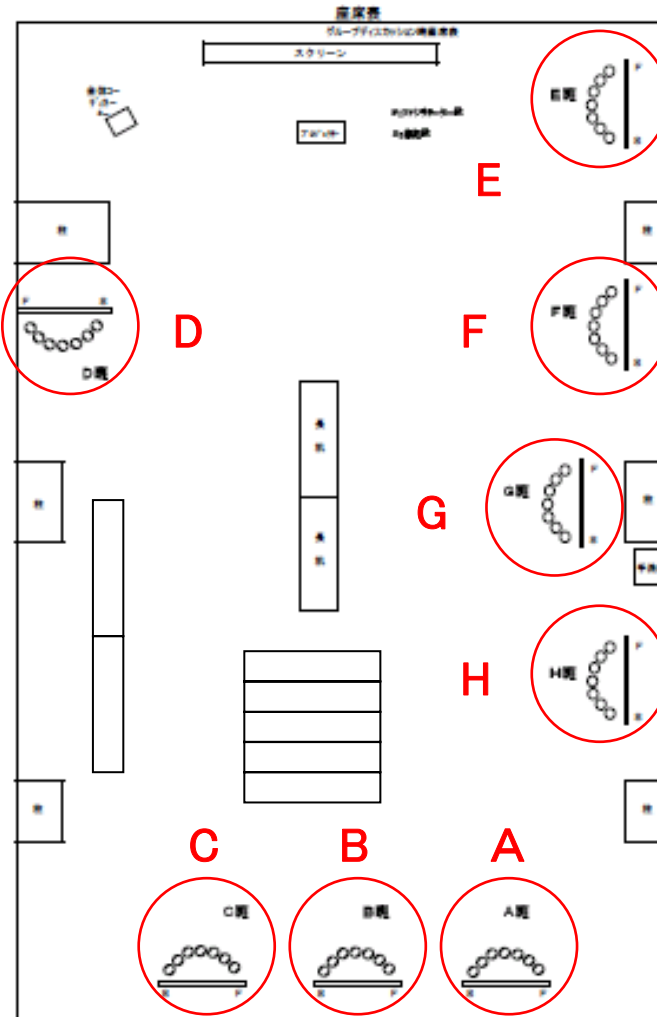
○ 事後評価とフォーカスグループインタビュー (30分)

会場レイアウト

講義時

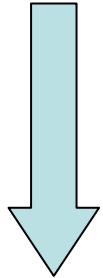


グループワーク・発表時

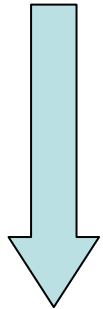


流れ

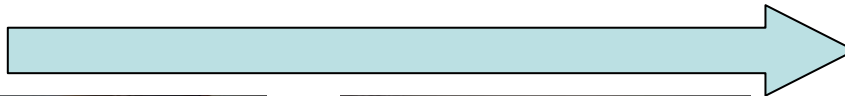
●事前打ち合わせ



●グループワーク



●発表



●事後評価 価及び フォーカス グループイ ンタビュー



グループの構成と役目

1グループ

ファシリテーター
(行政, 消費者団体)

1人

書記役
(行政)

1人

参加者

(公募56人 ※最終51人)

- ①消費者団体
- ②無職, 主婦, 学生
- ③生産者
- ④食品関連事業者, 団体
- ⑤マスコミ関係者
- ⑥行政
- ⑦食品関連研究, 教育機関
- ⑧その他

6~7人

★ファシリテーターの役目

【中立・傾聴・観察・質問・整理】

- 常に中立的な立場で, 参加者に質問することでその参加者の意見を確認しながら進行管理・整理する。
- 意見をまとめる役目ではなく, わかりやすく捉え直す。
- チームワークを引き出す。
- 成果が最大となるよう支援する。

★書記役の役目

【補佐】

- 意見をそのまま書く。
- ファシリテーターを補佐する。

テーマの決定

《テーマ決定のためのテーマ》

『食に関して気がかりなこと、興味があることは何ですか？』

○決定方法

『**デルファイ法**』 意見を記述する。ポストイットに1人1テーマ記入。内容及び理由を述べる。模造紙に貼る。(ポストイットは1人2~3枚。)

『**ノミナルグループプロセス法**』 意見を述べる。同じ意見は述べられない。意見が出なくなるまで回す。意見は模造紙に書記役が書く。

- 投票
- ・自分にとって優先度順に高いものから3つあげ, 投票用紙に記入。
 - ・高いものから3点, 次いで2点, 次いで1点とし, グループ全体で集計。
 - ・最高得点のものがテーマ。

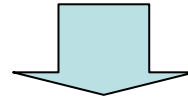
《決定したテーマ(決定方法)》

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| A: 賞味・消費期限 | (デルファイ法) |
| B: 将来の農業, 農作物の自給率 | (デルファイ法) |
| C: 賞味期限 | (デルファイ法) |
| D: 食物の賞味期限切れでもどのくらいまで大丈夫か | (デルファイ法) |
| E: 食品の安全性とは | (デルファイ法) |
| F: 食品表示偽装について | (デルファイ法) |
| G: 消費者は何を基準に食品を購入しているのか | (デルファイ法) |
| H: 輸入物の安全性について | (ノミナルグループプロセス法) |

テーマ決定から発表まで

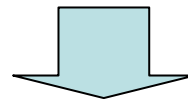
■ 決定したテーマについて意見交換

- ・問題を解決するために、**どういことがされたらよいのか。**
- ・問題点を解決するために、**自分たちは何ができるか。**



■ 発表の観点を決定し意見交換

- ・議論をふりかえって、私が**「驚いたこと」**、**「わかりづらかったこと」**、**「必要だとわかったこと」**の3つ観点から発表したいことを一つ選択し意見交換。



■ 発表

- ・**「驚いたこと」**、**「わかりづらかったこと」**、**「必要だとわかったこと」**のいずれかの観点から発表。

今回のリスクコミュニケーションについて

良かった点

- ・参加者が思ったことを自由に発言できた。
- ・立場の壁を越えて意見交換できた。

悪かった点

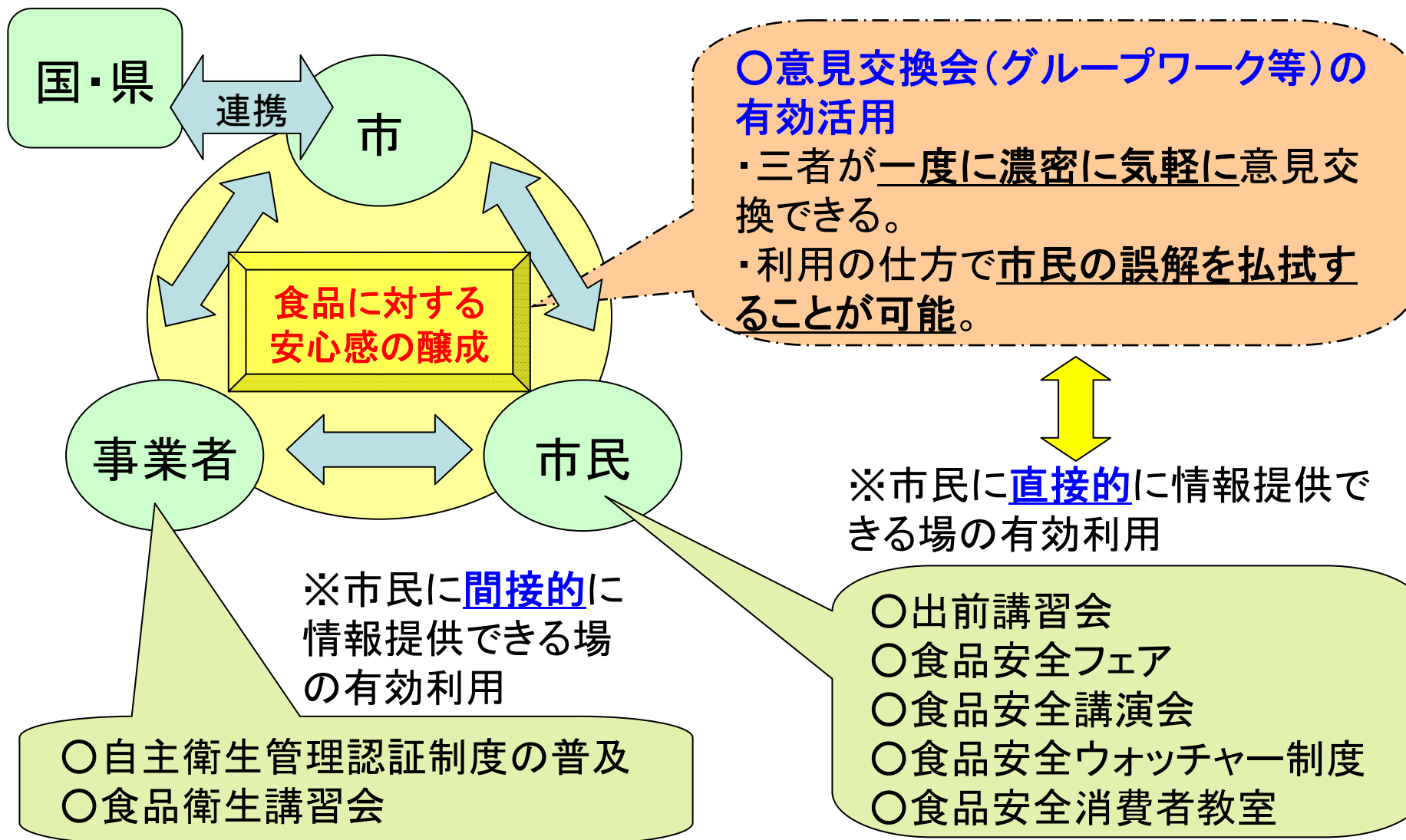
- ・間違った知識を修正できなかつた。（正しい知識を取得できなかつた。）
- ・参加者間で発言時間及び頻度に偏りが生じた。

対応

対応

- ・意見交換後のテーマに応じた行政等からの考え方提供の場設定
- ・ファシリテーターのさらなる育成（進行管理）

今後のリスクコミュニケーションの課題



国・県

連携

市

食品に対する
安心感の醸成

事業者

市民

○意見交換会(グループワーク等)の有効活用

- ・三者が一度に濃密に気軽に意見交換できる。
- ・利用の仕方です市民の誤解を払拭することが可能。

※市民に直接的に情報提供できる場の有効利用

- 出前講習会
- 食品安全フェア
- 食品安全講演会
- 食品安全ウォッチャー制度
- 食品安全消費者教室

※市民に間接的に情報提供できる場の有効利用

- 自主衛生管理認証制度の普及
- 食品衛生講習会

性別及び年齢

○ 参加者数: 51人※(途中退席2人)

※ ファシリテーター及び書記役の
16人を含まず。

○ アンケート回収数: 43人

○ アンケート回収率: 84%

回答内容	件数(人)	割合(%)
男性	18	41.9
女性	25	58.1
無回答	43	100.0

回答内容	件数(人)	割合(%)
20歳未満	0	0.0
20歳代	2	4.7
30歳代	6	14.0
40歳代	14	32.6
50歳代	8	18.6
60歳代	6	14.0
70歳代以上	7	16.3
無回答	0	0.0
	43	100.0

職業(立場)及び参加の目的

回答内容	件数 (人)	割合 (%)
消費者団体	5	11.6
無職, 主婦, 学生	11	25.6
生産者(農林水産業等)	0	0.0
食品関連事業者, 団体	9	20.9
マスコミ関係者	0	0.0
行政(独立行政法人等含む)	11	25.6
食品関連研究・教育機関	0	0.0
その他	7	16.3
無回答	0	0.0
	43	100.0

回答内容	件数 (人)	割合 (%)
話したかったから	3	6.4
聞いたかったから	17	36.2
面白そうだったから	8	17.0
関心があったから	1	2.1
知りたかったから	13	27.7
その他	2	4.3
無回答	3	6.4
	47	100.0

※2人複数回答

満足度

回答内容	件数(人)	割合(%)
十分満足	6	14.0
ほぼ満足	29	67.4
あまり満足できなかった	2	4.7
まったく満足できなかった	1	2.3
どちらでもない	0	0.0
無回答	5	11.6
	43	100.0

《満足できなかった理由》

- ・何かを期待していたわけではないので。
- ・話し合いたいテーマが種々の職業とか、知識のレベルによって異なると思った。テーマを3つにしないで1つに絞った方が自分が話し合いたいテーマにされると思う。
- ・先生の専門的な事も話して頂きたかった。

参考資料: アンケート結果(抜粋)

評価

回答内容	件数(人)	割合(%)
評価する	15	34.9
まあまあ評価する	22	51.2
あまり評価しない	3	7.0
まったく評価しない	1	2.3
無回答	2	4.7
	43	100.0

評価の理由(プラスの評価1)

- ・割と貴重な機会ではあると思う。
- ・自由な論議ができる雰囲気ができているのが良い。制限されない。
- ・様々な人の意見を聞いたり, 自分の意見を話すことで問題を共有できたり, 明確にすることができるから。
- ・直接, 様々な立場の方との意見をきける機会はめったにないので貴重でした。
- ・講師の話だけを聞くよりも, みなさんの意見を聞くことができ, その中で考えさせられたことやこれから必要なことなど, 発見が多かった。
- ・個人的キャラクターに左右されやすくなると思いました。いろいろな人がいるという...再認識もしましたが...
- ・色々な, 食に対する考え方があることに気付かされた。
- ・様々な立場の方の生の意見を聞くことができる。
- ・いろんな考え方やくらしがあることを前提に身近な話題から食の安全・安心を考えることは大切だと思いました。学習をすすめると「むずかしい」内容に深化することがあるのですが「わかりやすさ」「広がりやすさ」は絶えず重要ですね。

評価の理由(プラスの評価2)

- ・いろいろな立場の方々の意見がおもしろかった。と同時に、もっと勉強しなければならないと思った。
- ・いろいろな方のご意見が聞けたので。
- ・自分の意見を言えたことは良かったです。それにも増して生産者の方の安全に対する意見を聞けたことは意義がありました。
- ・多方面からの情報が得られた。
- ・生活者の方々の生の声は大切。
- ・他人の意見を聴けるし、自分の意見も批判されずに思ったことを述べられたから。
- ・自分の意見に対し他の人はどう思うか 何を考えているのかが分かるのはこれから先生活するにあたり充分プラスになると思います。
- ・情報を共有できる場ができよかったと思います。

評価の理由(プラスの評価3)

- ・個々のお話を聞きましていろいろと勉強になりました。
- ・自由に意見を言い合ったから。
- ・皆の意見(考え)が良く分った。
- ・種々の人の話を聞いて参考になりました。
- ・それぞれの立場の方の意見をきくことができました。男性の方の意見も参考になりました。
- ・第1回にしては参考になりました。
- ・誰もの意見も聞けたのでよかった。講師の先生のご指導も最後に聞けた方がもっとよかったと思います。
- ・若い方が多くグループに入り、感心する程、よく考え、勉強になり、生活して行くにはかしい、消費者になろうと思った。
- ・いろんな考えを出して話し合えましたので、大変よかったと思います。また、企画してください。

評価の理由(マイナスの評価)

- ・効率が悪い。共有できたとは思えない。皆が勝手な事を言うだけ。
- ・同じ事に興味がある方が同じグループになる方が良いと思うので班づくりはテーマを決めてから組んで欲しい。
- ・年代が様々なので考え方に差がある。
- ・意見交換は前もってテーマをいくつか決めておいて、話しあいたいテーマを話し合いたい。多数決でも、自分が考えていたことが解決されないのはとても不満でした。話し合いはとても良いと思いますが。

ディスカッションの
進め方について
の説明はわかり
やすかったか

回答内容	件数 (人)	割合 (%)
たいへんそう思う	16	37.2
そう思う	23	53.5
あまりそう思わない	2	4.7
そう思わない	0	0.0
無回答	2	4.7
	43	100.0

グループディス
カッションの進行
役の進め方はよ
かったか

回答内容	件数 (人)	割合 (%)
たいへんそう思う	18	41.9
そう思う	20	46.5
あまりそう思わない	3	7.0
そう思わない	0	0.0
無回答	2	4.7
	43	100.0

活発な意見交換 だったか

回答内容	件数 (人)	割合 (%)
たいへんそう思う	19	44. 2
そう思う	19	44. 2
あまりそう思わない	3	7. 0
そう思わない	1	2. 3
無回答	1	2. 3
	43	100. 0

他の参加者の意見 を聞くことはよ かったか

回答内容	件数 (人)	割合 (%)
たいへんそう思う	23	53. 5
そう思う	16	37. 2
あまりそう思わない	2	4. 7
そう思わない	1	2. 3
無回答	1	2. 3
	43	100. 0

意見交換会のご意見, ご感想(その1)

- ・消費者, 生産者の参加が多いと思えたが企業関係者が少ないと感じられた。また, 消費者も何らかしらの団体やNPO(?)に属している方が多いようであり, 人を集めるのは難しいと思うがごく一般的な消費者の参集も必要と考える。
- ・とても勉強になりました。食の安全に関しては, 皆さんたくさんの不安があり, このような会では取り上げるテーマは限りがないのかなと思います。生産者, 消費者, 専門家(?)の意見が聞けて, 刺激になったとともに, 食に対する片寄った知識しかないことを感じさせられました。どうもありがとうございます。
- ・議論がしばしば横道にそれ, 修正が難しいと思いました。リスクコミュニケーションは, とても大切な取り組みと思います。もっと多くの参加者に幅広く参加していただけると良いと思いました。
- ・DVDの音が悪く聞きづらい。13:00~16:30は長すぎ。隣のグループの音がうるさい。堀口先生の話をもっと聞きたかった。
- ・活発な話しあいが行われ, ファシリテーターが上手にコントロールしてくれたので効果的な話し合いが行われた。ファシリテーターの力量の重要性が感じられた。

意見交換会のご意見, ご感想(その2)

- ・神奈川県から参加しましたが, 県, 市が主催でこのような場があることは, とても素晴らしいと思いました。食の安全・安心には, 一人ひとりの参加が必要だと思いますので, 日本全体でこういったことが広がっていくとよいと感じられた。
- ・他人の意見を聞いたことは良かったが, 一部の方の話が長くなってしまった。時間を決めて意見交換を行わないと難しいなと感じました。たくさんのお話が聞けて勉強になりました。
- ・改めて, 自分の五感や消費者として考えていかなければいけないと思った。
- ・人数が多かったように思う(グループ分け) 違う意見を持った方の話を「そうか」と聞くのはむずかしい
- ・とても勉強になりました。知らなかったこともあり, よかった。
- ・今後もぜひこの様な場をもうけてほしいと思います。とても勉強になりました。また, 自分にはない思いや意見が聞けてよかったです。

意見交換会のご意見, ご感想(その3)

- ・折角の話し合いの時間を多くとってもらったのに自分が考えてきたテーマが話し合われなかったことは残念でした。同じテーマを話し合いたいグループに分けて話しあいたかった。
- ・それぞれの生活状態で考えかたが違う。
- ・今後も開催して下さい。ありがとうございました。
- ・指示を通りに皆理解してより意見が出たと思います。脱線することなくよく話し合えたと思います。
- ・デルファイ法は初めてでしたが、とてもよかったと思います。
- ・みんなで話し合う事は予想してこなかったので少々疲れた。しかし、全体の様子がよくわかり、話し合った事が共通していた所もあり、楽しかった。
- ・皆さん活発に意見をして下さいました。大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・第2回開催し各市町公共団体と実施してください。